

## 栗山赤十字病院第1班救護班 災害救護活動を終えて

令和6年1月1日に発生した能登半島地震で日本赤十字社北海道支部長職務代理からの要請を受け、当院天崎病院長からの救護班の出動命令があり、1月26日から28日までの3日間、石川県能登町において救護活動を行いました。

被災地では、多数の避難所を巡回訪問し診療する「巡回診療」、医療的ケア・心のケアが主な任務となりました。

巡回先の避難所は様々なニーズに溢れていました。

持病の薬が切れかかっても移動手段がなく病院の受診が困難で薬の処方を受けられずにいた患者さんや怪我をしているにもかかわらず、他の人に迷惑が掛からないようにとけがを隠していた患者さんもいました。

また災害のことを思い出して涙が止まらなくなるという患者さんもあり、医療ケアだけではなく心のケアも今後はもっと必要になってくるのだと感じました。



移動中も災害に見舞われて倒壊した家屋を目撃して改めて被害の大きさを感じ取ることが出来ました。

救護活動中は能登町に泊まり込み、電気はかろうじて通っているものの、上下水道が使えない状況で、被災者の方たちと同じ生活を送りました。